

問1 広大な領土を持つロシア連邦において、特定の山脈を境にした地域の区分について述べた文として、最も適切なものはどれですか。(2024年 和歌山公立入試 類似)

1. その山脈の西側がヨーロッパ州、東側がアジア州と区別されている。
2. その山脈を境にして、北側が北極圏、南側が温帯地域と明確に区分されている。
3. その山脈はロシアと中国の国境線となっており、国家間の境界としての役割を持つ。
4. その山脈を境にして、西側が太平洋に注ぐ河川、東側が北極海に注ぐ河川の分水嶺となっている。

問2 東端にカムチャッカ半島を擁するロシア連邦において、広大な国土面積を活かした資源の輸出方法とその背景について正しく説明しているものはどれですか。(2021年 神奈川県公立入試 類似)

1. 天然ガスを液化せずに気体のまま長距離輸送するため、隣接する地域に対して大規模なパイプラインを建設して供給している。
2. 原油や天然ガスはすべて国内での消費に充てられており、広大な国土を移動させるための輸送コストを抑えるため輸出は禁止されている。
3. 世界最大の人口を維持するための食料生産に土地を優先的に使用しており、資源の輸出よりも穀物の輸入に重点を置いている。
4. 資源の輸送は船舶によるものが中心であり、内陸部から港までの輸送を容易にするため、国土の全域が温暖な気候となっている。

問3 ヨーロッパ中央部に位置するアルプス山脈の周辺地域では、その急峻な地形と豊かな水源を活かした発電が盛んに行われています。この地域で自然環境を利用して行われている発電方法と、アルプス山脈の位置する場所の組み合わせとして正しいものはどれですか。(2025年 京都公立入試 類似)

1. 水力発電とヨーロッパ中央部
2. 地熱発電と北欧地域
3. 風力発電とアフリカ大陸北部
4. 火力発電と南アメリカ大陸西岸

問4 農産物の生産統計において、第1位がスペイン、第2位がギリシャ、第3位がイタリアとなっている作物の特徴として最も適切なものはどれか。なお、この作物は地中海沿岸地域が原産であるとする。(2021年 沖縄公立入試 類似)

1. 果実は食用とされるほか、油をしばって料理などに広く利用される
2. エジプトやイランなどの乾燥帯で主に栽培され、貴重な保存食となる
3. コートジボワールやガーナなどの低緯度地域で栽培され、菓子の原料となる
4. 東南アジアなどの熱帯地域で栽培され、タイヤなどの工業製品の原料となる

問5 ヨーロッパの多くの国々の間では、国境を越えて移動する際の手続きを簡略化する協定が結ばれています。この協定に基づき、人々の円滑な移動を実現するために廃止された具体的な行為はどれですか。(2018年 群馬県公立入試 類似)

1. 国境におけるパスポートの検査
2. 域外から輸入される工業製品への関税
3. 国ごとに異なる独自の通貨の使用
4. インターネットによる情報のやり取りの制限

問6 ヨーロッパにおける環境・エネルギー政策に関連して、アイスランドやイタリアで広く普及している「地熱発電」の説明として、その背景や分類を含めた記述として最も適切なものはどれですか。(2024年 長崎公立入試 類似)

1. 火山が集中する地域の熱エネルギーを利用して再生、二酸化炭素の排出が少ない再生可能エネルギーの一つである。
2. アルプス山脈などの急峻な地形と豊富な降水量を活かしており、天候に左右されやすい再生可能エネルギーの一つである。
3. 偏西風が強く吹く北海沿岸の気候を活かしており、温室効果ガスを排出しない再生可能エネルギーの一つである。
4. 地中海沿岸の乾燥した気候と強い日差しを活かしており、枯渇する恐れがある化石燃料の一つである。

問7 ヨーロッパでは、16世紀の宗教改革などを背景にキリスト教の宗派が地域ごとに分かれて分布しています。これらの宗派の広がりとその特徴について説明した文として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。(2020年 岩手県公立入試 類似)

1. 北ヨーロッパやドイツなどの北中欧ではプロテスタントが多く、南ヨーロッパやフランスなどの西中欧ではカトリックが多く信仰されている。
2. 地中海沿岸のイタリアやギリシャではプロテスタントが古くから普及し、ノルウェーなどの北欧諸国ではカトリックが主流となっている。
3. 産業革命をきっかけに、東ヨーロッパを中心にプロテスタントが広まり、ドイツやイギリスでは正教会が最も有力な宗派となった。
4. EU (欧州連合) の発足により、域内の宗教的対立を避けるため、すべての加盟国で単一の共通宗教を信仰することが義務付けられている。

問8 イギリスの首都ロンドン郊外などの地域では、情報通信技術 (ICT) をはじめとする高度な知識や技術を活用する産業が集積しています。このような、現代の産業構造において中心的な役割を果たす産業を何と呼びますか。(2020年 神奈川県公立入試 類似)

1. 先端技術産業
2. ブランテーション
3. 伝統的工芸品産業
4. 労働集約型産業

問9 EU加盟国における経済状況の変化について、2005年から2017年の統計に基づいた分析として正しい記述はどれですか。なお、ここではバルト海沿岸の国々を比較の対象とします。(2020年 福島県公立入試 類似)

1. 2001年以降に加盟した国々の一人あたりの国民総所得は、2005年時点では1万ドル未満であったが、2017年までに約2倍に増えている。
2. 2001年以前からの加盟国の一人あたりの国民総所得は、2005年から2017年にかけて大幅に減少し、新しく加盟した国々の水準を下回った。
3. すべてのEU加盟国において、2005年から2017年にかけて一人あたりの国民総所得の増加率は一定であり、加盟時期による経済成長の差は見られない。
4. 新しく加盟した国々は、一人あたりの国民総所得の額そのものは大きいものの、経済成長が頭打ちになったため、増加率がマイナスに転じている。

問10 ノルウェーなどのヨーロッパ北部は、北緯60度を超える高緯度に位置しながらも、同緯度の他地域に比べて冬の気温が下がりにくく、海が凍らないという特徴があります。この気候を形作る要因として最も適切な組み合わせはどれですか。(2018年 東京都公立入試 類似)

1. 北大西洋海流という暖流の影響と、一年中吹く偏西風の影響
2. 千島海流という寒流の影響と、夏に吹く季節風の影響
3. 黒潮という暖流の影響と、赤道付近から吹く貿易風の影響
4. リマン海流という寒流の影響と、冬に吹く季節風の影響

問11 ヨーロッパの北西部に広がる、高緯度のわりに冬が温暖で夏は涼しく、年間を通じて降水量の差が少ない気候が形成される主な要因として、最も適切な説明はどれですか。(2021年 山口公立入試 類似)

1. 北大西洋海流という暖流の上を、偏西風が吹くことで湿った暖かい空気が運ばれるため。
2. 北大西洋海流という寒流の上を、偏西風が吹くことで乾燥した冷たい空気が運ばれるため。
3. 黒潮 (日本海流) という暖流の上を、季節風が吹くことで湿った暖かい空気が運ばれるため。
4. 地中海の上を、偏西風が吹くことで夏に乾燥した空気が運ばれるため。

問12 ヨーロッパ連合 (EU) では、加盟国間の経済的な結びつきを強めるために、人や物などの移動についてどのような仕組みが整えられていますか。その特徴として最も適切なものを選びなさい。(2021年 福岡県公立入試 類似)

1. 国境をこえて、人、物、資本、サービスを自由に移動させることができる仕組み
2. 国境ごとにパスポートの提示を求め、他国からの労働者の流入を厳しく制限する仕組み
3. 加盟国間の貿易において関税を引き上げ、自国の産業を優先的に保護する仕組み
4. 域内の国境をすべて物理的に廃止し、一つの大きな国家として政治統合する仕組み

答え合わせ・解説

問1	答え 1 その山脈の西側がヨーロッパ州、東側がアジア州と区分されている。	ウラル山脈はロシア連邦を東西に分けるような形で存在しており、この山脈より西側を「ロシアのヨーロッパ側」、東側（シベリア側）を「ロシアのアジア側」と呼びます。ロシアの人口や産業の多くは、この山脈の西側であるヨーロッパ側に集中しています。
問2	答え 1 天然ガスを液化せずに気体のまま長距離輸送するため、隣接する地域に対して大規模なパイプラインを建設して供給している。	ロシアは世界最大の国土面積を持ち、隣接する国々が多いという地理的利点があります。天然ガスは冷却して液体にする「LNG」としての輸送も行われますが、ロシアの場合は陸続きの強みを活かし、気体のまま効率的に大量輸送できるパイプラインをヨーロッパや中国などへ敷設しています。これにより、エネルギー資源を外交や経済の強力な手段として利用しています。
問3	答え 1 水力発電とヨーロッパ中央部	ヨーロッパ中央部にそびえるアルプス山脈では、山がちで高低差がある地形と、雪解け水などの豊富な水資源を利用した水力発電が古くから行われてきました。これに対し、地熱発電は火山帯に近いアイスランド、風力発電は偏西風の影響を受ける北海沿岸などで盛んです。
問4	答え 1 果実は食用とされるほか、油をしばって料理などに広く利用される	スペイン、ギリシャ、イタリアは地中海沿岸に位置し、夏の乾燥に強いオリーブの栽培が非常に盛んです。オリーブは地中海料理に欠かせない食用油（オリーブオイル）の原料として世界中に輸出されています。選択肢にある「乾燥帯の保存食」はなつめやし、「菓子の原料」はカカオ豆、「工業製品の原料」は天然ゴムの説明です。
問5	答え 1 国境におけるパスポートの検査	ヨーロッパではシェンゲン協定という取り決めにより、加盟する国々との国境検問が廃止されました。これにより、パスポートの検査を受けることなく隣の国へ自由に行き来できるようになり、通勤や観光など、人々の移動が非常に活発になりました。これはEU（ヨーロッパ連合）が掲げる「人・物・サービス・資本の移動の自由」を支える重要な仕組みの一つです。
問6	答え 1 火山が集中する地域の熱エネルギーを利用しており、二酸化炭素の排出が少ない再生可能エネルギーの一つである。	地熱発電は、火山の熱という自然界に存在するエネルギーを繰り返し利用するため、太陽光や風力などと同様に「再生可能エネルギー」に分類されます。アイスランドやイタリアのようにプレート活動が活発な地域では、この自然の利点を活かして環境負荷の低い電力を得ることが可能です。他の選択肢にある水力、風力、太陽光も再生可能エネルギーですが、火山の分布と直接関係するのは地熱発電のみです。
問7	答え 1 北ヨーロッパやドイツなどの北中欧ではプロテスタントが多く、南ヨーロッパやフランスなどの西中欧ではカトリックが多く信仰されている。	ヨーロッパの宗教分布は、地理的な区分と密接に関わっています。16世紀の宗教改革を経て、北部のスカンディナビア半島諸国やドイツ、イギリスなどではプロテスタントが定着しました。これに対し、イタリア、スペイン、フランスなどの南・西ヨーロッパ諸国では、依然としてカトリックの勢力が強いまま維持されました。また、ロシアやギリシャを含む東ヨーロッパやバルカン半島の一部では正教会が広く信仰されており、この「北のプロテスタント、南・西のカトリック、東の正教会」という大まかな分布パターンを理解しておくことが重要です。
問8	答え 1 先端技術産業	ロンドン郊外などの都市周辺では、大学や研究機関との連携が容易なことから、情報通信技術やバイオテクノロジーといった先端技術産業（ハイテク産業）が発展しています。かつての石炭や鉄鋼を中心とした重工業から、知識集約型の産業構造へと転換が進んだ結果、このような産業の集積が見られるようになりました。
問9	答え 1 2001年以降に加盟した国々の一人あたりの国民総所得は、2005年時点では1万ドル未満であったが、2017年までに約2倍に増えている。	バルト海沿岸のEU加盟国における一人あたりの国民総所得の変化を見ると、2001年以前からの加盟国（デンマークなど）は、2005年時点で3万ドルから4万ドルを超える高い水準にありました。一方で、2001年以降に加盟したエストニアやリトアニアなどの国々は、2005年時点では7,000ドルから9,000ドル台という低い水準でしたが、2017年までにはその数値が約2倍にまで成長しています。このように、所得の低い国々がより高い増加率を示すことで、EU全体の経済格差を縮小させようとする動きが見られます。
問10	答え 1 北大西洋海流という暖流の影響と、一年中吹く偏西風の影響	高緯度のヨーロッパ西岸では、低緯度から温かい水を運んでくる暖流（北大西洋海流）の上を、偏西風という西寄りの風が通過します。この偏西風が暖流によって温められた湿った空気を大陸へと運ぶため、冬でも海が凍らず、比較的温暖な西岸海洋性気候が形成されます。
問11	答え 1 北大西洋海流という暖流の上を、偏西風が吹くことで湿った暖かい空気が運ばれるため。	ヨーロッパ北西部が同緯度の他の地域に比べて穏やかな気候になるのは、高緯度まで北上する暖流の北大西洋海流と、その上空を一年中吹いている偏西風が大きく影響しています。暖流によって温められた湿った空気が偏西風によって大陸側に運ばれることで、冬の冷え込みが抑えられ、年間を通して安定した降水がもたらされます。この気候を西岸海洋性気候と呼びます。
問12	答え 1 国境をこえて、人、物、資本、サービスを自由に移動させることができる仕組み	ヨーロッパ連合（EU）の大きな特徴は、加盟国があたかも一つの国であるかのように活動できる「共通市場」を形成していることです。この仕組みにより、加盟国の国民は他の加盟国で自由に就職したり、生活したりすることが可能になっています。また、物資の移動に際しても関税がかからず、スムーズな経済活動が行えるよう工夫されています。